



年間100種類の野菜を育てている専業農家の森新さんと、スタッフの野口諒介さん。
この日の森さんは、収穫したばかりの在来種の白ナスなどを持ってきていた

熊谷の美味しい野菜を 探しに行こう！

利根川の流れてつくられた肥沃な土と、たっぷり注ぐ太陽が、おいしい農産物を育てる熊谷市妻沼。採れたて野菜が並ぶ直売所はもちろん、生ジュースやジェラートで味わえる店もこの土地ならではの。

農家の人が採れたて野菜を届ける ふれあいセンター妻沼店

道の駅めぬま内の農産物直売所。利根川沿いの肥沃な大地で育まれた地元産の新鮮野菜や、農産物を使った加工品を販売。季節ごとにさまざまな旬の野菜が並ぶほか、小麦粉や農家手打ちのうどん、精米したての県産米などがある。

☎048-588-0090 9:00～18:00(1月～2月下旬は～17:00) 無休 120台 熊谷市弥藤吾1566-1 JR熊谷駅から朝日バス妻沼行き(バイパス経由)で24分、道の駅めぬま下車、徒歩すぐ
MAP P.23 C-2

熊谷産の注目野菜



にんじん

芯まで鮮やかなオレンジ色で、生で食べると香りがとてもよい。おすすめ時期は4～6月頃。

大和芋

11月頃から新芋を収穫。低温貯蔵された芋は旨みと粘りが強くなる。5～6月がとくにおすすめ。

めぬまねぎ

年間を通じて栽培されているが、おすすめは冬。霜に当たると甘みが増していっそうおいしくなる。

Q 熊谷で生産量の多い野菜は？

A 作付面積の広さでは1位ねぎ、2位にんじん、3位ブロッコリー、4位大和芋。なかでも大和芋は埼玉県一の生産量を誇り、熊谷を代表する農産物です。ちなみに「農林61号」「さとのそら」などの品種がある小麦は、本州一の生産量で年間6000トン以上です。

Q 熊谷(とくに妻沼)で 野菜がおいしいのはなぜ？

A 昔は利根川が氾濫を繰り返したため、肥沃な土が運ばれて堆積し、野菜栽培に適した土壌ができあがりました。日照時間が長いことも野菜にとって好条件。よい土とよい水に恵まれ、太陽の光もたっぷり注がれるため、健康でおいしい野菜がすくすくと育ちます。

めぬま野菜の生ジュース

聖天様の参拝後にひと息 藤川屋青春館

ふじかわやせいしゅんかん

駄菓子、たばこ、宝くじを販売し、無料の貸自転車もある店。お休みスペースでは低速ジュースで作る生ジュースや自家製甘酒を。

☎048-588-5050 9:00～19:00 日曜 25台(向かいの無料商店街駐車場利用) 熊谷市妻沼1429 JR熊谷駅から朝日バス太田駅・西小泉駅・妻沼聖天前行きで25分、妻沼仲町下車、徒歩すぐ
MAP P.23 C-2



ポパイ390円

ほうれん草、小松菜、ピーマン、セロリ、りんご、レモンなどを低速ですりつぶした生ジュース

須藤晃治さん



ここでひと休みしたら、自転車で妻沼のまちをぜひゆっくり楽しんで。利根川沿いにはサイクリングロードがあり、無料の渡し船は自転車も乗せられます。

熊谷野菜の地ジェラート

熊谷の特産を楽しめるレストラン 道の駅めぬま めぬまアグリパーク サラダ館

みちのえきめぬまめぬまアグリパークサラダかん

熊谷産の牛乳と野菜でつくるジェラートが人気。大和芋の粘りを生かしたチョコ大和のほか、熊谷産にんじやねぎを使ったジェラートがある。地粉の熊谷うどんや、麦とろなど郷土の味も。

☎048-567-1187 10:00～18:00(土・日曜、祝日は9:30～、11月～2月は～17:30) 第1水曜 120台 熊谷市弥藤吾720 JR熊谷駅から朝日バス妻沼行き(バイパス経由)で24分、道の駅めぬま下車、徒歩すぐ
MAP P.23 C-2

スタッフ
池田佳江さん



熊谷の夏は暑いけれど、地元ではいろいろな工夫で涼を楽しんでいます。野菜ジェラートもぜひ試して。



シングル300円/ダブル380円

チョコ大和(右) モンキーキャラット(左) 大和芋入りのチョコ大和、バナナと熊谷産にんじんをミックスしたモンキーキャラット

ねぎらい(右) パラ(左) 熊谷産ねぎを使ったねぎらいは、ライチ入りでさわやか。パラは4月下旬～10月限定



いろいろな味を楽しみたいという女性から人気の欲張りシリーズ、あんこくるみとクリームチーズ240円

ベーグル生地のお食パン480円。乳脂が使われていないので、白米のごはんのように、どんな具材にでも合う



臼杵健さん

「みそパンベーグル」を熊谷の新しい名物にしたいと思い、「いぐぜ、100万個」を掲げて力をいれています。達成したら社会貢献で寄付をするプロジェクトもやっています。



焼きまんじゅうのような甘辛タレでおいしく、懐かしいと評判のみそばんベーグル230円。「おにっこハウス」(→P.7)の味噌を使用



生バナナチョコナッツ260円。クルミやシナモン、ナツメグも入り、甘すぎないところが大人の女性に人気



「芋屋TATA」の人気の芋、紅はるかを使ったTATAの焼きいもベーグル380円。芋が手に入る時期のみの味

シンプルなベーグルと 地元食材の魅力的なコラボ ウスキングベーグル

「熊谷のニューヨーク」をコンセプトにしたお洒落なベーグル専門店。ベーグルはハードなみそばんとモチモチ感があり、飽きのこない味わい。看板商品のみそばんベーグルをはじめ種類豊富なベーグルがそろそろ。全粒粉100%のシナモンロール220円も人気。

☎048-522-7717 10:00～19:00 日曜 25台 熊谷市筑波1-175-3 JR熊谷駅から徒歩5分
MAP P.22 C-2



約15～20種類の焼ききたベーグルが並ぶ

熊谷野菜が たっぷり 地産地消グルメ

中心街から離れると田畑が点在する熊谷市。北部の妻沼や南部の江南では土地の恵みを生かした野菜などが作られ、それを使ったおいしいものがたくさん生まれているのが熊谷の魅力。



約5年で、埼玉県で生産量1位になったサツマイモ農家です。熊谷をサツマイモの産地にするのが目標。農業の後継者不足を解消するため、生産者を増やすことを理念にし、農業塾もやっています。

サツマイモ農家が手掛ける 甘みたっぷりのイモ専門店 芋屋 TATA

いもやた

都内のビジネスマンからサツマイモ農家に転身して約5年、栽培から加工、販売まですべて行なうサツマイモ専門店。加工場に併設してスタッフが建てた店では、2時間かけて焼き上げる石焼き芋やジャム、焼き芋から手間を惜しまずに作った干し芋(500円)を販売。

☎048-538-7961 10:00～17:30(3月以降は未定) 木曜 5台 熊谷市榎春1984-5 JR熊谷駅から国際王交通バス今市、県立循環器・呼吸器病センター行きまたは小川町行きで15分、畜産試験場下車、徒歩すぐ
MAP P.23 B-5

紅はるか



人気No.1の紅はるかは甘みが強く、なつとり。糖度42度の驚異的な甘さを記録し、熊谷市産業祭で市長賞を受賞。安納芋、シルクスイートなど9品種を栽培



①西海岸風のお洒落な店内 ②日替わりの石焼き芋。量り売りは100g130円(税別)。ミックス500円が人気 ③地元のミルクアイス添えた極み焼き芋アイスのせ380円

